

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和8年1月13日同時配布



令和8年1月13日
国土技術政策総合研究所

流域デジタルテストベッド「G空間 EXPO2026」へ出展します！

～ブース展示および出展者セミナーによる発表のお知らせ～

国土交通省では、令和7年10月よりサイバー空間上の流域の実験場「流域デジタルテストベッド」の試験利用を開始しました。

「G空間 EXPO2026」でその活用事例や今後の展開をご紹介します。

デモ動画やXRツール等を活用し、流域デジタルテストベッドで利用可能なアプリやツールの一部を体感できます！

<開催日程>

■ブース展示

会期：令和8年1月28日（水）～1月30日（金）

※1月21日（水）～2月13日（金）オンライン開催

会場：東京ビッグサイト 東7、8ホール

入場登録等：御来場に当たって、事前に入場登録すれば入場無料です。

※「G空間 EXPO2026」の出展概要、及び入場登録は以下のURLをご確認ください。

<https://springfair.nikkan.co.jp/>

■出展者セミナー

日時：令和8年1月29日（木）15:30～16:10

会場：セミナー会場2（東8ホール）

発表者：国土技術政策総合研究所 河川研究部

　　水防災システム研究官 竹下 哲也

入場登録等：聴講申込が必要です（定員100名 聴講料無料）

※取材をご希望の場合は、事前にご連絡ください。

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 河川研究部 水循環研究室 山本、小沢

TEL：029-864-2325 E-mail：nii-mizujunkan@kmlit.go.jp

（上記アドレスの””を抜いて送信してください）

流域デジタルテストベッドの整備と利用

別紙

背景と目的

デジタルツインで流域を考える実験場 “流域デジタルテストベッド”（流域DTB）

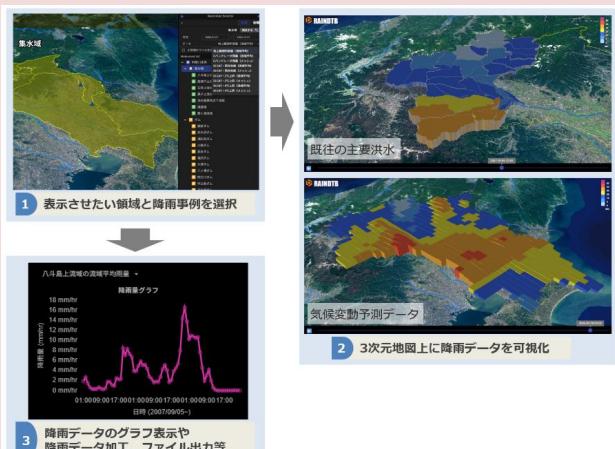
- 流域に関する様々なデータを活用し、クラウド環境上で技術開発や実証実験等を行うことを可能とする
- 大学・研究機関や民間企業も利用可能なものとし、产学官における技術開発を促進
- 開発された技術を、地方整備局や河川事務所にて速やかに試行できる



流域DTBによる技術開発・現場実装の加速化

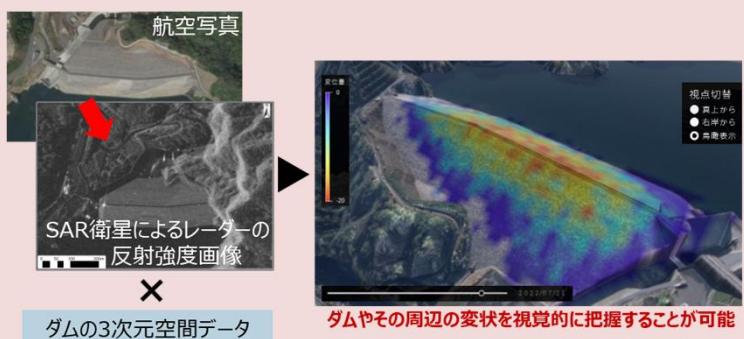
テストベッドの利用試行例

基盤データ・オープンデータを利用



降雨等の気象・水文データの可視化

技術開発成果を可視化・共有



流域デジタルテストベッド上でデータを組み合わせて表示

技術開発成果を展開



研究成果のデモンストレーション
(流域デジタルツインを用いた流域治水の自分事化支援ツールに関する
研究開発 (奈良先端大学、令和6年度))

可視化ツールを活用した現場での速やかな利用



詳細はテストベッドwebサイト (<https://www.nilim.go.jp/lab/feg/dtb/dtbindex.htm>) を参照